

再掲	記号	要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
	総合	3	<p>【IRの説明・PRの推進を】 新中野町内会</p> <p>人口の減少・生産人口の減少・市税の減少等、ここ数年言われ続けておりますがこれだという対策がなされておられません。IRを積極的に誘致し一万人以上とされる職場の確保、税金収入増を図り未来ある苦小牧を形成してほしい。各企業で素晴らしい設計がなされ、国際会議場・ホテルショッピングモール・公園など夢のような空間が現れ、そこで家族が1日を過ごす素晴らしい設備だと思えます。ただ住民が考えているのは、敷地の3%に立つカジノ設備だと思えます。1日に何十万・何百万も負けて家族崩壊の危機という話は聞きますが、一般サラリーマンがそんなお金の使い方ができるのか。</p> <p>一部芸能人とか大会社の役員とか、今でも海外に行ってカジノをして大負けしたということが週刊誌に出ますが、我々一般人が、カジノにこのめり込めないように、どのような対策を取り、このようにします、という説明が出来てないし、されてない。市民は、博打依存症が一番の心配事で、この心配を解決して皆が安心して賛成できるよう、広報とまこまい・チラシ等でどんどん周知をしてほしい。</p>	<p>本市におきましては、人口減少時代に入り、人口減少・少子高齢化に伴う税収の減少、インフラの老朽化と維持更新コストの増加をはじめとする深刻な社会的課題を抱える大変な時代が到来するという危機感がございいます。このため、本市が将来にわたり、しっかりと市民サービスを提供できるまちを目指すためには、様々な施策にチャレンジしていかなければならないと考えており、IR誘致へのチャレンジは、その施策のひとつであり、本市における新たな雇用の創出や地域経済の活性化に大きく寄与するものと考えております。</p> <p>IRにおけるギャンブル依存症対策につきましては、従来日本にはない厳格な監督、統制、規制を行う総合的な対策を目指すものとなったところでございます。</p> <p>平成30年7月に成立したIR整備法においては、日本人等の入場回数を連続する7日間で3回、連続する28日間で10回に制限することや、入場時にマイナンバーカード及びその公的個人認証を義務付けること、入場料として6,000円を賦課することなど、機会の限定、厳格な入場規制、相談、治療につなげる取組について、重層かつ多段階的な取組を講ずるものと定められております。</p> <p>また、同法において、地方公共団体は、カジノ施設の設置運営に伴う負の社会的影響の排除を行うために必要な施策に関し、その区域の実情に応じた施策策定を実施する責務を有しておりますことから、本市といたしましても、北海道とともに、地域が取り組むべき対策を具体的に検討していかなければならないと考えております。</p> <p>なお、既存のギャンブル等依存症を含めた対策につきましては、平成30年7月に「ギャンブル等依存症対策基本法」が成立しており、各都道府県も対策の計画を策定するよう努めなければならないなど、今後ギャンブル等の依存防止の対策が国の責務として進められることになりました。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ)</p>	E	総合政策部 国際リゾート戦略室

再掲	記号	要望番号	要望事項	取組状況等	反映区分	担当部課
				<p>(前ページより)</p> <p>本市といたしましては、本市がIRにチャレンジしている背景、IRの事業モデル、市民が懸念される事項への対策等につきまして、引き続き市民セミナーや出前講座を通じて市民理解の促進に努めてまいりたいと考えております。</p>		
	総合	4	<p>【「JR沼ノ端駅」の急行・普通列車の増便と無人駅解消・プラットホームの屋根設置】 沼ノ端中央町内会</p> <p>沼ノ端地区の人口急増に伴い増え続ける利用者、大手企業社員や学生の通勤・通学の不便解消により一層の努力をお願いしたい。無人駅解消、風雨対策としてプラットホームに屋根の設置という要望が出ている。全力を挙げて関係機関に働きかけてほしい。</p>	<p>【ミーティング開催時回答】</p> <p>JR北海道に確認したところ、列車の増便につきましては、市内だけではなく、市外の駅の利用状況も調査しながら計画的に便数を設定しており、現在、各路線の特急列車と普通列車を合わせて1日69本、利用者は1日約1,400人いる沼ノ端駅につきましては、ダイヤ改正等により不便の解消に努めていきたいと伺っております。</p> <p>駅の有人化につきましては、駅における鉄道運行に必要な作業(車両の入れ替え等)や収支比較なども含めて、総合的に判断しているとのことでございます。</p> <p>また、プラットホームへの屋根設置につきましては、現状で設置予定はございませんが、利便性向上の取組は厳しい経営状況の中で優先順位を付けながら進めていくと伺っております。</p> <p>市といたしましては、今後も引き続き利用者数などの状況を見ながら、JR北海道に対して利便性向上について要請してまいります。</p> <p>(次ページへ)</p>	C	総合政策部 まちづくり推進課

再掲	記号	要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
				<p>(前ページより)</p> <p>【令和2年3月末時点回答】</p> <p>JR北海道に確認したところ、列車の増便につきましては、市内だけではなく、市外の駅の利用状況も調査しながら計画的に便数を設定しており、現在、各路線の特急列車と普通列車を合わせて1日69本、利用者は1日約1,400人いる沼ノ端駅につきましては、ダイヤ改正等により不便の解消に努めていきたいと伺っております。</p> <p><u>令和2年3月のダイヤ改正において、千歳発札幌行き の早朝始発便、1便を苫小牧発に延長し、利便性を向上させると報告を頂きました。</u></p> <p>駅の有人化につきましては、駅における鉄道運行に必要な作業(車両の入れ替え等)や収支比較なども含めて、総合的に判断しているとのことでございます。</p> <p>また、プラットホームへの屋根設置につきましては、現状で設置予定はございませんが、利便性向上の取組は厳しい経営状況の中で優先順位を付けながら進めていくと伺っております。</p> <p>市といたしましては、今後も引き続き利用者数などの状況を見ながら、JR北海道に対して利便性向上について要請してまいります。</p>	C	

再掲	記号	要望番号	要望事項	取組状況等	反映区分	担当部課
★	総合市	5 9	<p>【沼ノ端中央1丁目～2丁目へのバスの乗り入れとバス停増設、街路灯の設置】 沼ノ端中央町内会</p> <p>1丁目に165区画の宅地造成が進行中。今後、一層の交通需要増が予想される。高齢者より1丁目へのバス停増設の懇願あり、この地区へのバスの乗り入れを強く要望する。道路の拡張や路線変更などの検討、また、日高道までの歩道に街路灯の設置をお願いしたい。</p>	<p>バス事業者を確認したところ、市内路線バスにつきましても、乗務員の不足及び利用者の減少により、便数の確保が厳しい現状にあるとお聞きしており、沼ノ端中央1～2丁目への路線バスの乗り入れについては運行経路の延長と、運行時間の増となることから、路線延長は困難であるとの回答をいただいております。</p> <p>市としましては、同地区の対応のため平成27年度に道南バスに要望し、平成28年4月のダイヤ改正時にバス停「沼ノ端跨線橋」を増設していただいたことから、そちらのバス停の利用をお願いしているところですが、利用者が少ないことから、今後の利用状況も踏まえて対応策の検討など要請をしまいたいと考えております。</p> <p>(まちづくり推進課)</p> <p>昨年度、御要望のございました箇所につきましては、すでに街路灯を設置しております。街路灯の設置につきましては、例年各町内会に対し次年度の要望をお聞きし、その中から街路灯の設置が必要な場所の優先順位を決め、順次設置をしているところです。今後につきましては、1丁目内の宅地分譲の進捗状況を見ながら設置を検討してまいりたいと考えておりますので、御理解をお願いいたします。</p> <p>(市民生活課)</p>	C	<p>総合政策部 まちづくり推進課</p> <p>市民生活部 市民生活課</p>
	総合	6	<p>【苫小牧東部地区における都市計画の見直し】 沼ノ端中央町内会</p> <p>苫小牧東部地区の都市計画の見直しと、臨海東通りを活かした苫小牧港と千歳空港を結ぶ物流防災道路の整備、新設を要望する。</p>	<p>本市の市街地は、土地の合理的な利用や、秩序ある市街地づくりを行うため、計画的な整備により形作られていますが、これまで区画整理や開発行為など、新たな宅地造成に伴い、必要に応じて都市計画変更を行っています。</p> <p>なお平成30年度に、20年先の将来を見据えた長期的な都市計画の方針である、第2次苫小牧市都市計画マスタープランを策定しており、今後は本マスタープランとの整合を図りながら、都市計画制度を適切に運用してまいります。</p>	B	<p>総合政策部 まちづくり推進課</p>

再掲	記号	要望番号	要望事項	取組状況等	反映区分	担当部課
	総合	7	<p>【道の駅「ウトナイ」付近のバス停移動】 沼ノ端中央町内会</p> <p>バス停が横断歩道から遠い為、不便に感じている高齢者が多数おられる。横断歩道近くに移設の要望を、関係機関に働きかけをお願いしたい。</p>	<p>バス事業者を確認したところ、ウトナイ湖バス停の移設につきましては、国道36号のバスベイの切り直しをはじめ、至近にある道の駅ウトナイ湖や商業施設の出入口の安全対策、民地に植苗町内会で設置していただいているログハウス風の待合所の移設など、様々な課題があることから、実現は極めて難しいと伺っております。</p>	D	総合政策部 まちづくり推進課
	総合	8	<p>【JR千歳線(沼ノ端・植苗駅間)の線路侵入防止柵の設置について(継続)】 ウトナイ町内会</p> <p>線路への侵入防止柵が設置されていない区間があり、誤って線路へ侵入してしまい重大な事故に繋がることも想定されることから、早急に線路侵入防止柵の設置を求めます。</p>	<p>【ミーティング開催時回答】 JR北海道に確認したところ、侵入防止柵の設置については、現在のところ難しいが、立て看板の設置により注意喚起を図る方向で検討してまいりますと伺っております。 市としましては、看板設置に向けた協議を進めるとともに、引き続き安全対策強化の要請をしてまいります。</p> <p>【令和2年3月末時点回答】 JR北海道に確認したところ、侵入防止柵の設置については、現在のところ難しく、代わりに<u>立て看板の設置を検討すると伺っていましたが、線路沿い3か所に「立入禁止」の立て看板を設置したと報告を頂きました。</u> 市としましては、引き続き安全対策強化の要請をしてまいります。</p>	B B	総合政策部 まちづくり推進課

再掲	記号	要望 番号	要 望 事 項	取 組 状 況 等	反映 区分	担 当 部 課
	総合	10	<p>【錦町高度利用地区について】 二区町内会</p> <p>昨年、「錦町高度利用地区市街地再開発促進区域の建築行為等の制限を解除してほしい」という要望を出したところ、「都市計画の変更について検討を進めてまいりたい」と回答がありました。</p> <p>その後の経過がよく分かりませんので、現在の進捗状況について、途中経過でもいいのでご返答ください。</p>	<p>本市では、全市的な都市計画の変更を来年度に予定しており、錦町の高度利用地区につきましても、見直し課題の1つとして検討しているところです。</p> <p>昨年以降の経過としましては、苫小牧圏都市計画区域を構成する安平町や厚真町において、震災復興事業等を優先したことにより、都市計画のスケジュールを調整し直すなどの影響がありました。</p> <p>今後とも地域の御要望を踏まえるとともに、北海道や安平町、厚真町と協議を重ねてながら、来年度の見直しに向け手続きを進めてまいります。</p>	B	総合政策部 まちづくり推進課